

沖縄県職員採用ガイダンス 2025 【技術系】

2025年12月

「建築職はこんな仕事をしています」

説明の流れ

1. 土木建築部の組織や事業

- ・ 沖縄振興計画、社会資本整備事業等

2. 建築職の概要

3. 建築職の主な仕事

(1) 建築基準行政

(2) 施設建築

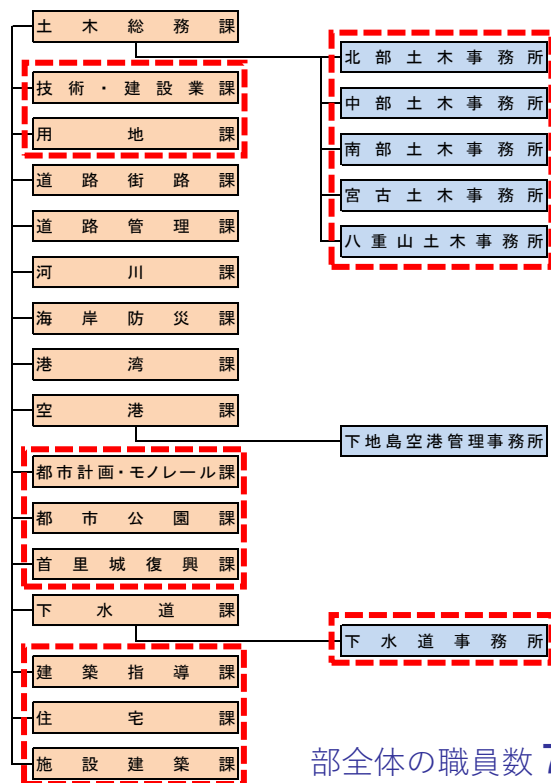
(3) 都市計画

(4) その他、首里城復興事業など

4. おわりに、職員研修など

1. 土木建築部の紹介（組織と予算）

■土木建築部の組織（令和7年4月1日時点）



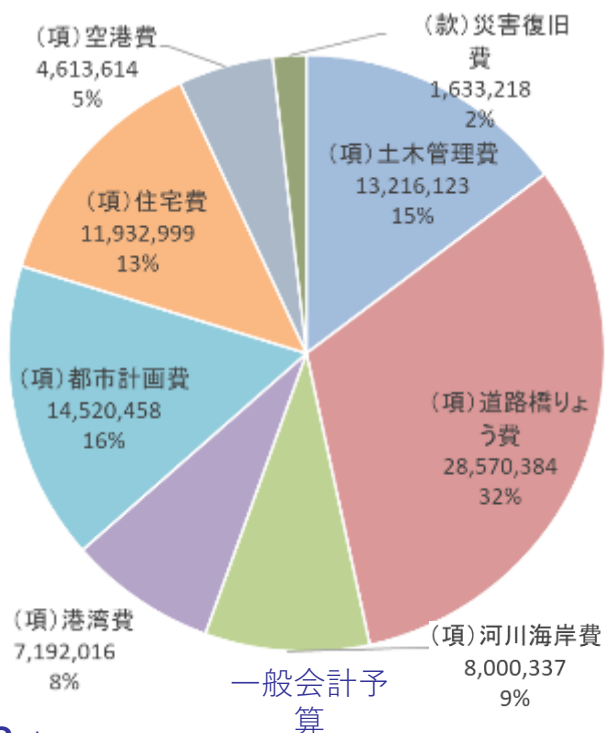
本庁：16課

部全体の職員数 758人

出先：7事務所

 建築職の主な配属先

■土木建築部 令和7年度歳出予算



一般会計予算

897億円

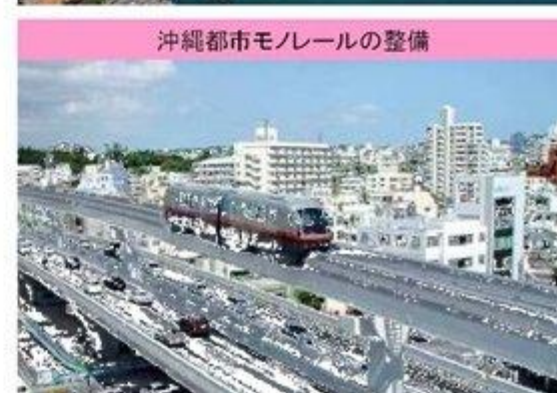
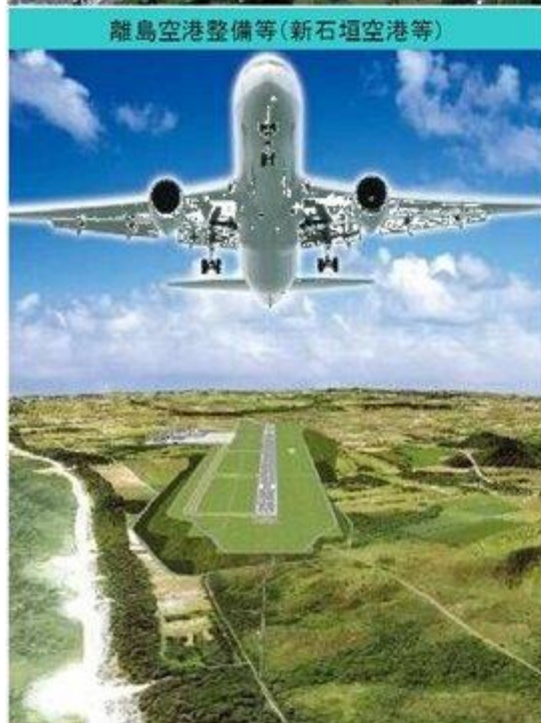
県全体予算
約8,894億円

土木建築部合計予算
約**1,250億円**

(特別会計, 企業会計, 他部局分任予算含む)

土木建築部予算割合
約**14%**

アジア規模の経済発展基盤整備プロジェクト



世界水準の観光リゾート地形成プロジェクト

那覇空港等の整備（国際線受入体制整備等）



観光地等へのアクセス道路整備



緑化によるリゾート景観の形成



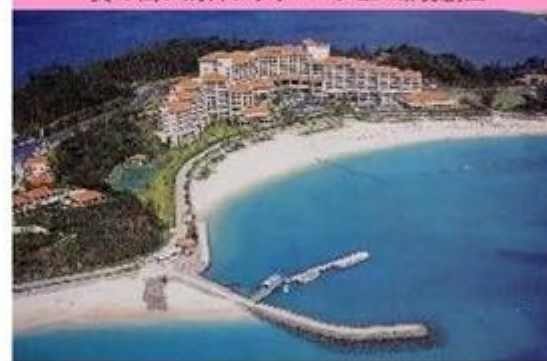
大型クルーズ船への対応等



公共交通ネットワークの構築



質の高い海洋レクリエーション環境創出



世界水準の観光地としてふさわしい舞台づくり



災害に強い島づくりプロジェクト

公共施設等の耐震化対策、老朽化対策等



治水対策(河川改修)



土砂災害対策(地すべり対策等)



無電柱化による緊急輸送道路等の確保



高潮対策(海岸保全施設)



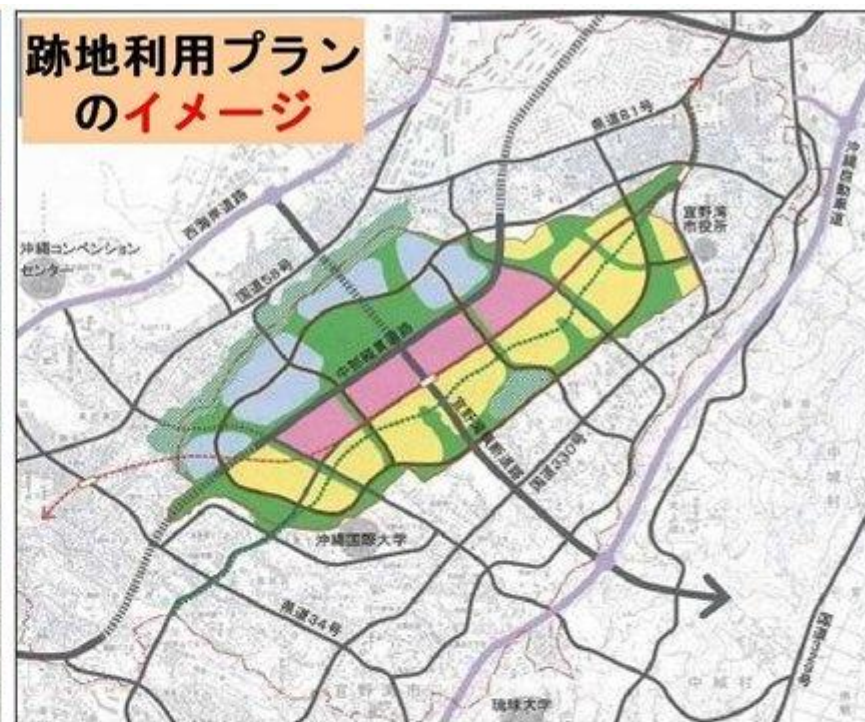
密集市街地の整備改善と公園整備等による避難地の確保



建設産業界との連携による災害対策(災害協定等)



大規模駐留軍用地跡地利用プロジェクト



将来のまちづくりのイメージ



沖縄らしい風景・まちなみ創生プロジェクト

公的空間の質的改善



まちなみ景観の創造



沖縄振興計画(H14～)以降の主な社会資本整備施設等(完成)

- 平成15年度 ○沖縄都市モノレール開業
- 平成16年度 ○古宇利大橋開通
 - 那覇新都心地区完成
 - 豊見城市地先開発事業埋立竣功認可
- 平成18年度 ○与那国空港(滑走路拡張)供用
- 平成19年度 ○西原マリンパーク供用
 - 国道449号名護バイパスの全線開通
- 平成20年度 ○新都心牧志線開通
 - 比謝川水辺プラザ完成
- 平成22年度 ○識名トンネル開通
 - ワルミ大橋開通
- 平成24年度 ○新石垣空港開港
- 平成26年度 ○伊良部大橋開通
- 平成27年度 ○儀間ダム竣工
- 平成29年度 ○具志川環状線開通
 - 浦添西原線(港川道路)開通
- 平成30年度 ○下地島空港ターミナル開業
- 令和元年度 ○都市モノレール延長部開業
- 令和4年度 ○KINサンライズビーチ供用
- 令和5年度 ○モノレール3両編成運行開始



2. 建築職の概要(イメージ)

施設建築

教育施設



首里高校



県立那覇みらい支援学校



高度衛生型荷捌施設



沖縄工芸の杜

アンダー-40建築設計競技



2018



2019

2020

公営住宅



県営大謝名団地

大型MICE



マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン

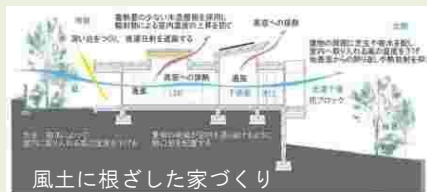
首里城復興



首里城公園中城御殿跡地整備

住宅行政

- 沖縄県住生活基本計画
- 住宅市街地総合整備事業
- 沖縄県高齢者居住安定確保計画
- 高齢者向け有料賃貸住宅制度
- 長期優良住宅認定制度
- 住宅リフォーム助成支援事業



風土に根ざした家づくり

都市計画

都市の将来像



都市マスタープラン

市街地整備



市街地再開発

景観形成



龍潭通り

建築基準行政

- 建築基準法
- 建築士法
- 建築物省エネルギー法
- 都市の低炭素化の促進に関する法律
- 建築物の耐震改修の促進に関する法律
- 建築物バリアフリー法
- 福祉のまちづくり条例

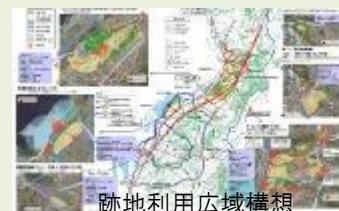


建築確認検査



福祉のまちづくり

基地跡地利用



跡地利用広域構想



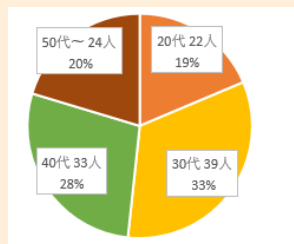
土地区画整理

2.建築職の概要（人数、配属先など）

■建築職の配属先

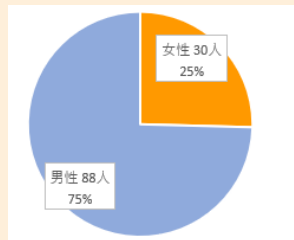
部	課	職員数	合計
本庁	土木建築部	統括監	1
		建築指導課	12
		施設建築課	17
		住宅課	13
		都市計画・モノレール課	5
		都市公園課	1
		首里城復興課	8
		技術・建設業課	2
		用地課	1
			60
出先	土木建築部	北部土木事務所	6
		中部土木事務所	8
		南部土木事務所	8
		宮古土木事務所	5
		八重山土木事務所	5
		下水道事務所	1
		那覇港管理組合	1
		沖縄県住宅供給公社	1
		(財) 沖縄県建設技術センター	2
			37
他部局	総務部	管財課	3
		東京事務所	1
		県土・跡地利用対策課	3
	保健医療部	医療政策課	1
		情報産業振興課	1
	商工労働部	企業立地推進課	1
		MICE推進課	2
	文化観光スポーツ部	(財) 国立劇場おきなわ運営財団	1
		施設課	6
	病院事業局	病院事業経営課	2
			21

■建築技術職員118人の内訳（R7年度時点）



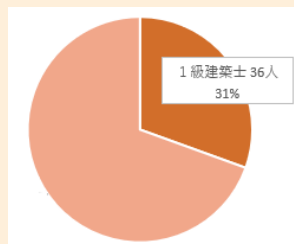
年齢別内訳

建築職の約50%が20代、30代です！！
たくさんの若手建築職員がいろんな職場で元気に活躍しています！



男女別内訳

建築職の約4人に1人が女性です！！
近年さらに増えてきています！
(この10年で15人以上増加！)



一級建築士の保有状況

建築職の約3人に1人が一級建築士！！
受験資格が緩和されたので、受験が可能であれば、学生や若いうちの早期取得をオススメします！

沖縄県庁は県内最大級の技術者集団です

- 建築技術職員 約120人
- 土木技術職員 約300人
- 電気・機械技術職員 約130人

有資格者も多数！！
一級建築士36人
技術士38人など
(※R7年度時点現役職員)

いろいろ相談できる。資格取得支援も充実

若手職員に聞きました

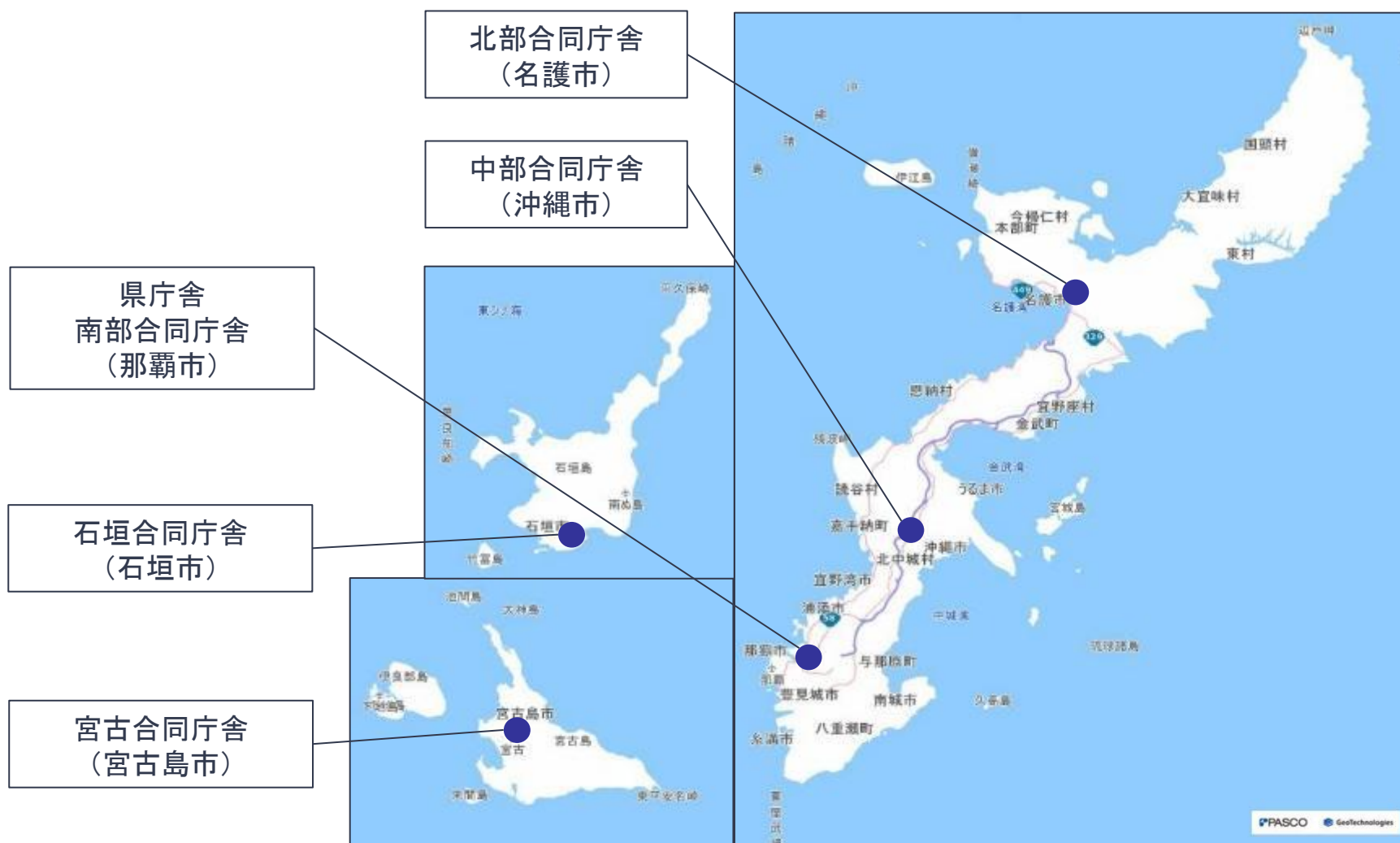
県庁職員になって、よかったこと

- 視野が広がる。県全体の動きがわかる。
- 全国各地への出張があり、見聞が広がった
- 大きなプロジェクトや、いろんな仕事に関われること
- 沖縄の発展に貢献できて嬉しい。地元愛が強まった

2.建築職の概要（主な勤務地）

■主要な異動先

出先機関は主に本島南部・中部・北部・離島に分散しており、原則**3年ごとに異動**



3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所

建築基準法 第1条

この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する**最低の基準**を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。

建築関係規定

- ・ 消防法・駐車場法・下水道法・屋外広告物法・浄化槽法
- ・ 宅地建物規制法　・ 都市計画法　・ 浄化槽法など

3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所

建築確認



工事着工



中間検査



工事完了



完了検査



使用開始

… 建築基準法や関係法令の適合状況を確認



… 例) 共同住宅2階以上等は中間検査が必要

… 工事完了後4日以内



3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所

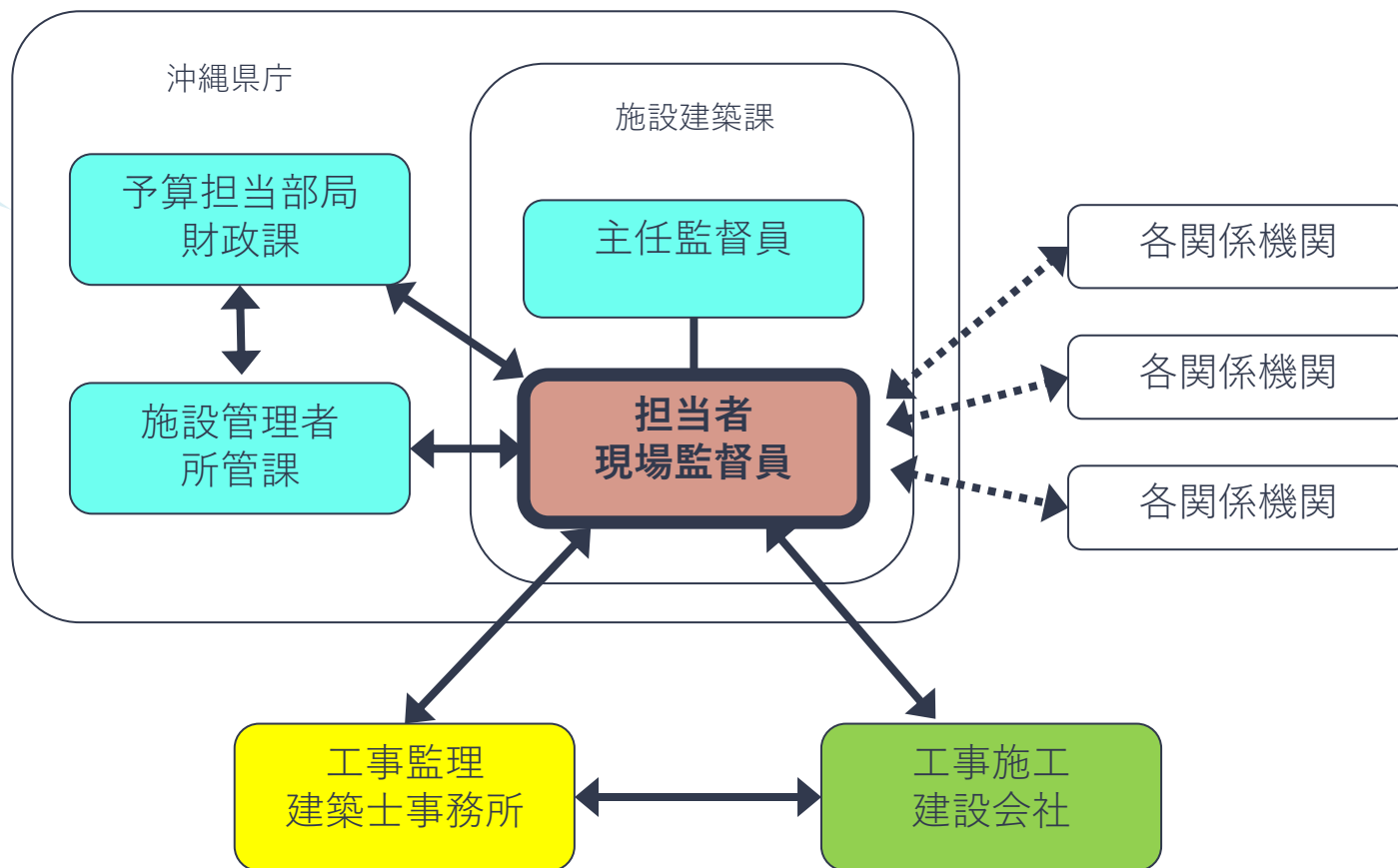


3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

業務体制



3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

設計

建物を建設するには「**設計**」が必要

→設計事務所へ「**設計業務を委託**」する

工事

委託業務設計書の作成

- ・積算基準をもとに委託料の算定
- ・業務内容、適用基準、提出書類等を記載した特記仕様書の作成

監理

設計委託業務の発注

- ・受注者や関係者と調整を繰り返し、工事施工上の課題の解消、構造や設備との整合等を行う
- ・成果品は、工事設計図書等工事を発注するために必要な資料となる

検査

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

設計

建物を建設するには「**専門の技術**」が必要

→建設工事の専門業者に「**工事を発注**」する

工事

工事設計書の作成

- ・積算基準をもとに工事費の算定
- ・業務内容、適用基準、提出書類等を記載した特記仕様書の作成

監理

工事の発注

- ・発注するための公告資料や審査会資料の作成
- ・公告中の質疑回答の対応、契約後の着手会議資料の作成
- ・監督職員として、品質、工程管理、施工上の課題とりまとめ等行う

検査

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

設計

工事

監理

検査

工事に関して県職員が主に行う業務は、

①工事が適切に進行しているのかの進捗確認

②発注通りに工事が実施されているかの確認

イメージ



県職員

杭の施工について支持地盤に到達したことが分かる資料を提出してください。

発注・監督

完了【確認】



工事業者

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

開邦高校
中学校校舎
2期

施設概要（事業課：教育庁施設課）

工事場所：南風原町新川

用 途：学校

構造階数：鉄筋コンクリート造

地上 4 階

敷地面積：17,414.31 m²

延床面積：7,495.51 m²



外観 1



外観 2



中学・高校の共有スペースとなる図書館



通風と採光に配慮した廊下

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

県営松川団地
1期

施設概要（事業課：住宅課）

工事場所：那覇市繫多川

用途：共同住宅

構造階数：鉄筋コンクリート造

地上 8 階建

敷地面積：12,308.67 m²

延床面積：3,644.36 m²



外観



住戸内部

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

工芸の杜

施設概要 [事業課：商工労働部ものづくり振興課]

所在地：豊見城市字豊見城
工期：令和元年10月～令和4年3月
構造・階数：RC造 地上3階建
敷地面積：9,787.51 m²
延べ面積：9,162.08 m²



建物全景



ロビー



工芸ストリート

3. 建築職の仕事 (2) 施設建築

他部局の事業: 沖縄空手会館

工事場所: 豊見城市(旧豊見城城址公園跡地)

用途: 展示場・集客施設

構造: 鉄筋コンクリート造 地上2階

敷地面積: 40,133m² 建築面積: 8,179

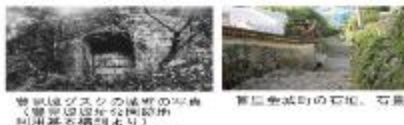
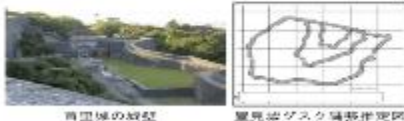
延床面積: 7,810m²

空手道会館(仮称)新築工事基本設計要請業務

2. 外観デザイン

【外観デザインコンセプト】

- 歴風に強みのある琉球石灰岩を多用して沖縄らしさを感じさせるとともに、跡が跡につれて敷地周辺の環境や景観に自然となじむデザインとする。
- 豊見城グスクという歴史遺産と調和し、空手発祥の地としての雰囲気も形成する。
- 連続した「石貼りのPC板」をデザイン要素としてグスクの石垣の持つ力強いイメージを幾何学的にも、PC構造の持つ現代的な技術も表現する。
- 石貼りのPC板で建物周囲を囲いながらも、PC板相互の継ぎ目適切に確保して開放性を確保するとともに圧迫感の大きな壁面とならないように配慮する。



3. 建築職の仕事

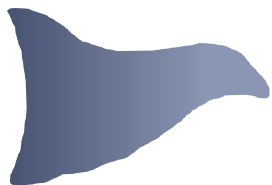
(2) 施設建築 アンダー40設計競技

関連部署：施設建築課

■沖縄県アンダー40設計競技とは

建設産業の人材育成に向け、40歳以下の若手建築士
(学生・志望者を含む)を対象に行われている設計コンペ

■愛称：ティーダフラッグス



アンダー40設計競技の愛称であり
太陽の下にたなびく三角旗は
若者の持つ情熱と力強さを表す

■仕事の流れ

整備対象案件の検討→条件設定→選考委員選定→応募要項作成→
一次審査会→最終審査会の運営→実施設計→工事

第13回 沖縄県アンダー40 設計競技

学生も
応募可



対象
建物

奥武山公園庭球場管理棟

ティーダフラッグス 2024

賞品 金賞 20万円×1点
銀賞 10万円×1点
銅賞 5万円×1点
学生賞 5万円×1点

※1位が正解の場合のみ抽選となります。
※抽選結果は当選者へメールで通知いたします。

奥武山公園は、健康増進を目的として多くの方が来園し、利用していますが、より多くの方に利用して頂けるよう公園づくりを進めています。今後、国民体育大会の会場として利用される予定もあることから、観覧機能や観覧室等に加え、既存のトイレや更衣室等の改修・増築が求められています。

今回のコンペは、テニスコートの管理棟が対象です。この場所に必要な施設の提案を期待します。

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築 アンダー40設計競技

関連部署：施設建築課

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
平成23年度 (2011)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)
浦添大公園 総合案内所	名護城公園 ビジターセンター	県総合運動公園 クラブハウス	奥武山公園 コミュニティーセンター	平和祈念公園 大きな休憩舎	平和祈念公園 ウェルカムルーフ	喜屋武岬園地 休憩所
						
平成25年完成	平成26年完成	平成29年完成	令和元年完成	令和3年完成	令和2年完成	令和3年完成
第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
中城公園 トイレ	本部港 屋根付き利便施設	大度園地 トイレ・休憩所	海軍壕公園 展望台	県総合運動公園 キッチンハウス	奥武山公園 庭球場管理棟	 <p>過去応募平均：45組程度</p>
						
令和4年完成	令和4年完成	工事準備中	工事準備中	設計中	設計中	計画中



Motobu Coral Roof (本部港)

3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

無計画にまちがつくられると・・・



計画的にまちづくりを行えば・・・



3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

都市とは

→大勢の人が集まり、働き、学び、生活する場所

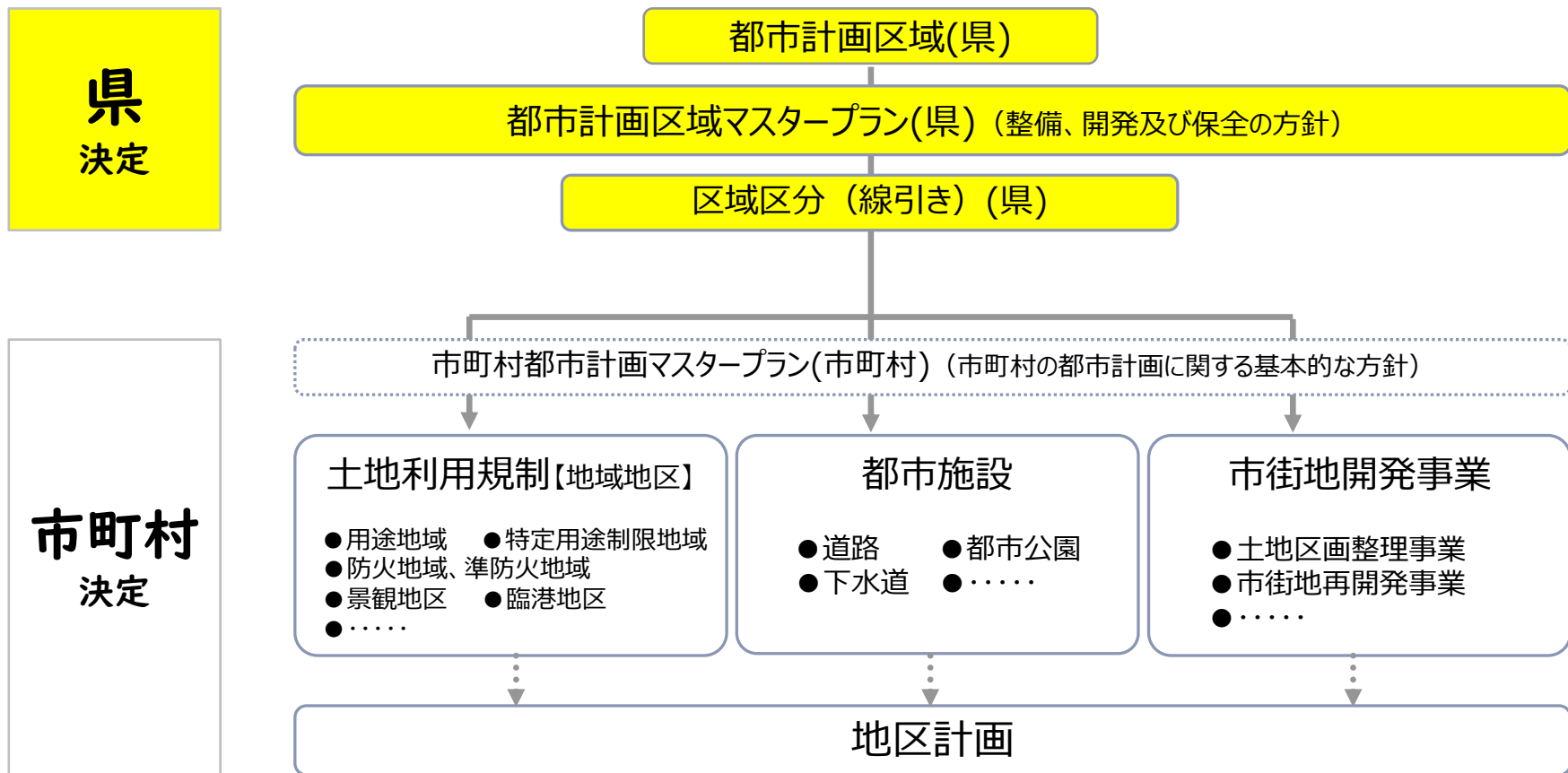
都市計画とは

→都市に集まる人が快適に暮らすためのまちづくりのルール！

3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

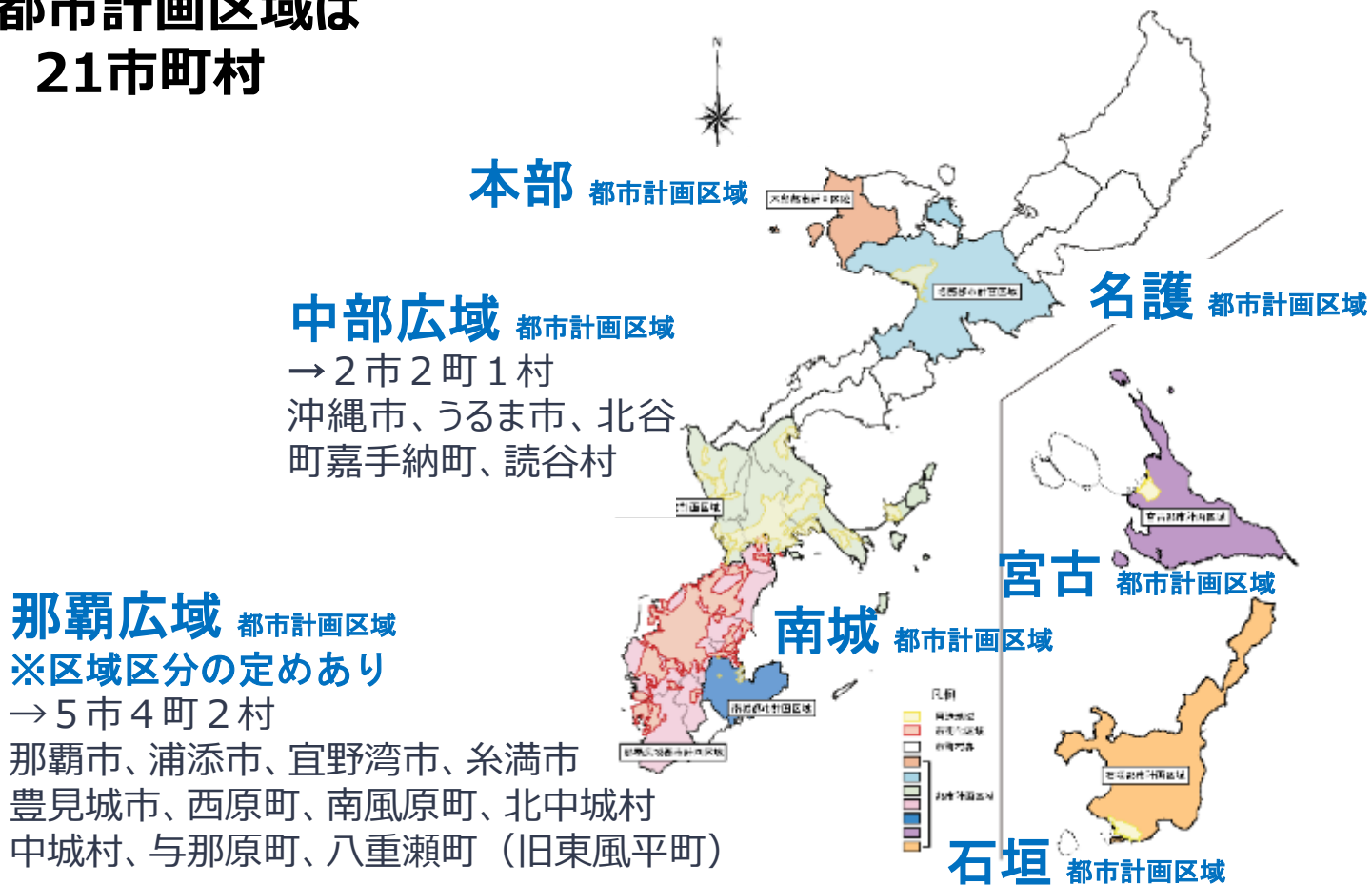
関連部署：都市計画・モノレール課



3. 建築職の仕事 (3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

県内の都市計画区域は 7区域 21市町村



3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

都市計画区域マスタープラン

- ・都市計画区域ごとに県が策定
- ・市町村の区域を超える広域的な見地から都市計画の基本的な方針を定める

那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」

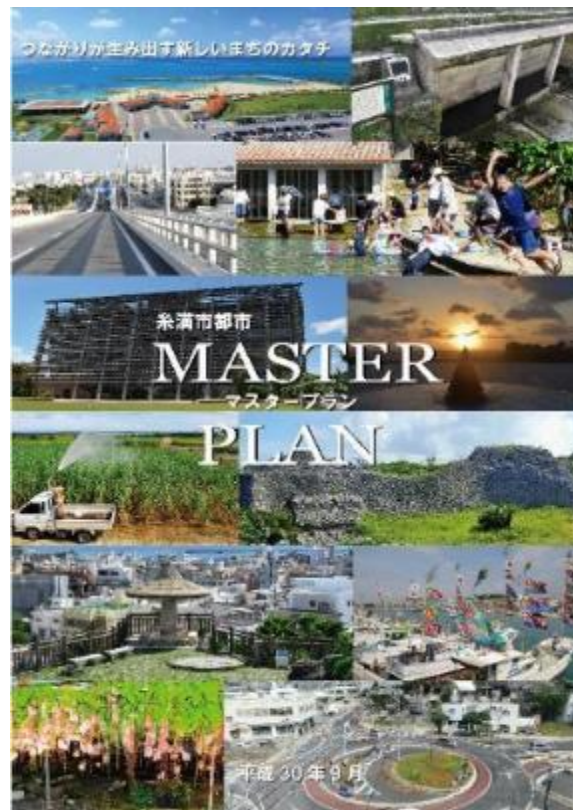


令和4年11月

沖縄県

市町村マスタープラン

- ・市町村が策定
- ・地域に密着した見地から都市計画の基本的な方針を定める



平成30年9月

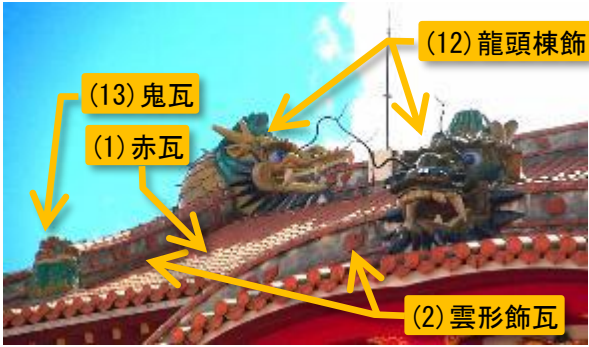


首里城復興基金(寄附金)を活用した取組

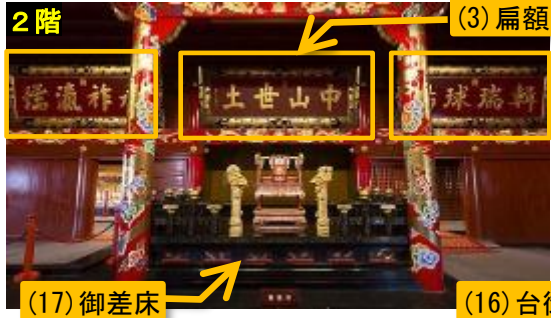
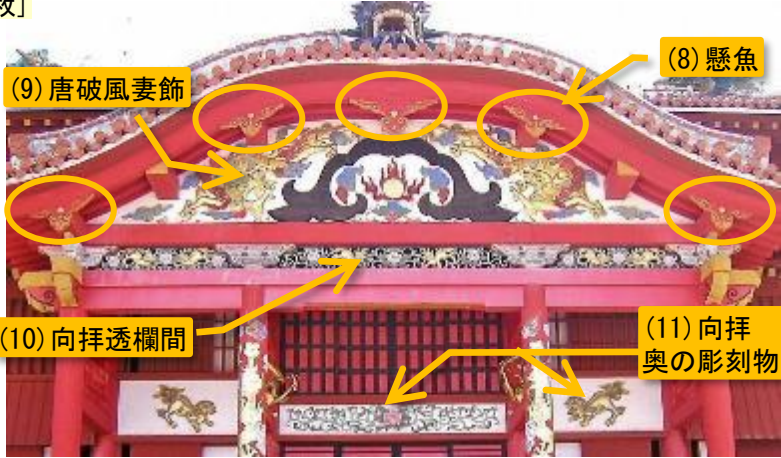
※首里城復興基金事業

監修会議

部位		種類	名称	
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材	
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)	
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]	【瓦類 WG】
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)	
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石	【彫刻 WG】
	(5)	"	小龍柱	
	(6)	"	石高欄/持送石 (いしこうらん)	
	(7)	"	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]	
	-	"	石階段	
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)	
	(9)	"	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)	
	(10)	"	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)	
	(11)	"	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)	
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)	
	(13)	"	鬼瓦[4個] (おにがわら)	
	(14)	"	磚[約1,500枚] (せん)	
室内装飾	(3)	漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]	
	(15)	垂飾	1階 御差床環珞 (うさすかようらく)	【染織 WG】
	(16)	造作・彩色	台御差床 (だいうさすか)	【彫刻 WG】
	(17)	造作・彩色	御差床 (うさすか)	



正殿以外の赤瓦[約30万枚]



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

首里城復興基金(寄附金)を活用した取組 ※木材調達



天井額木用木材の調達状況



県産クスノキ調達状況



県産クスノキ製材状況



外部倉庫への搬入と受入検査状況



国産クスノキの木取り打合せ状況



イヌマキ板材製材状況



県産イヌマキ製材確認

■県調達木材の主な産地

- | | |
|----------|----------|
| ・ヒノキ | 奈良、三重 |
| ・ヒノキアスナロ | 青森 |
| ・スギ | 熊本、奈良 |
| ・イヌマキ | 長崎ほか九州各地 |
| ・クスノキ | 埼玉 |

首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。

○計画期間

- ・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
- ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、具体的なロードマップを整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに関連する施策や事業をパッケージ化した点が特徴である。



○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施。令和5年度の協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、龍潭周辺の全体利用のあり方や地区交通の検討に係るワークショップなどを行った。

○取り組みロードマップ(一部抜粋)

						2026(令和8)年 首里城正殿完成予定					
方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続 or 新規	事業	事業主体	前 期 (5年)				
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財)			設計	工事
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施				
		③共創の景観まちづくりの推進	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等				
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討				
		②拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計		工事		
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事				
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計		工事等(順次実施)		
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、観世門等の修復保全)	県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)				
	③歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	調査・設計		整備等(順次実施)	
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証				

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330㎡
延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

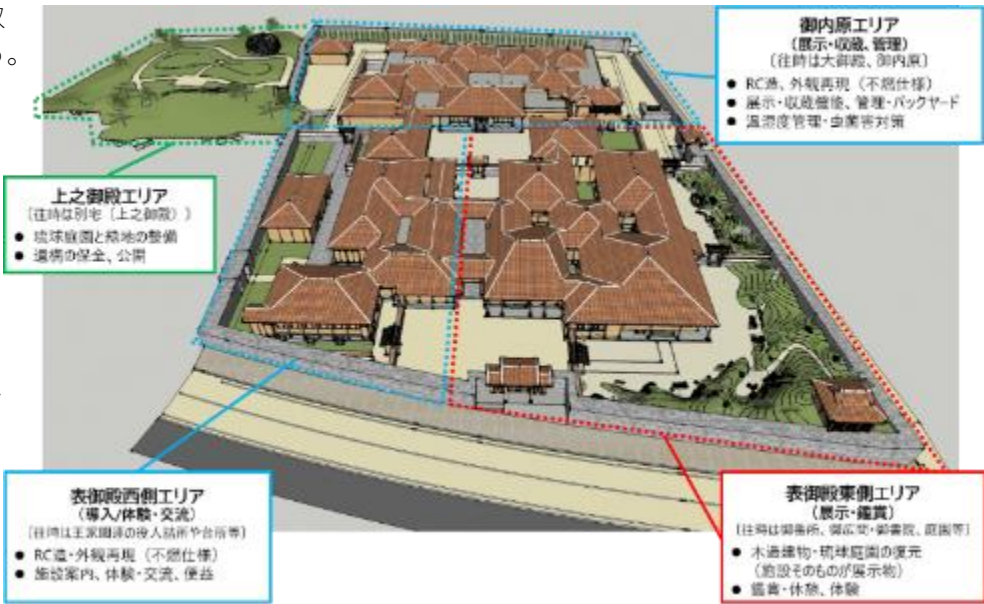
【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- ・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

【中城御殿整備スケジュール（案）】

	項目	事業	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
中城御殿	城域内 正殿復元	国営公園事業	実施設計	発注手続 (WTO)		工事		正殿完成	城域内スケジュール 「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照				
	松崎重盛など 龍潭周辺整備	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		松崎重盛など龍潭周辺整備 調査、設計		工事				令和8年 公園（供用開始）			
	【第1期工事】 上之御殿 (庭園・広場)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		上之御殿 設計		工事				令和8年 公園（供用開始）			
	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		御内原・表御殿西側 設計		工事				令和8年 公園（供用開始）			
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整					表御殿東側 設計			令和10年 木材調達、木造工事			

中城御殿イメージパース



4. おわりに

建築技術職員スキルアップセミナー

公共建築物の品質確保には相応の技術力が必要であり、一級建築士取得を要件とする建築主事の設置義務も沖縄県に課せられているため、一級建築士レベルの知識習得は継続的に取り組むべき課題となっています。



業務経験の浅い若手建築技術職員の早期育成
及び建築技術職員全体のスキルアップを図るため、

「スキルアップセミナー」を実施

○取り組み

- ・ 一級建築士学科試験対策講座（Web講座等）
- ・ 模擬試験の実施
- ・ 毎朝の自己学習時間の確保、学習場所の提供 など

会議・研修等への参加

会議や研修等を通じて、職務能力の向上を図り、また、その内容を所属部署へフィードバックすることで職場全体の業務推進に繋げています。

国土交通大学校（東京都小平市）
令和7年度研修抜粋

37